

GREMO 第30回次世代自動車公開シンポジウム
～名古屋大学・日本大学合同(第4回)～
「人とクルマの共生未来社会～生活者中心のクルマに向けた研究～」
概要報告

主催 名古屋大学未来社会創造機構モビリティ領域(GREMO)
日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター(NU-CAR)
協賛 公益社団法人自動車技術会、一般社団法人日本人間工学会
後援 愛知県、岐阜県、公益社団法人科学技術交流財団、公益社団法人名古屋産業科学研究所、
一般社団法人中部産業連盟、IEEE ITSS 名古屋チャプタ
協力 次世代自動車地域産学官フォーラム

開催目的 GREMOとNU-CARが合同で、自動車・ヒト・環境の相互作用を多角的な視点から議論するシンポジウムを開催し、今後の自動車技術の動向を考えると共に共同研究のテーマなどについて検討する。

開催日時 2018年3月20日(火) 13:30～20:00
開催場所 名古屋大学ベンチャービジネスラボラトリー(名古屋市千種区不老町) 電話 052-747-6868
参加者数 約80人
NU-CAR参加者 景山一郎 秋濱一弘 石橋基範 栗谷川幸代 丸茂喜高 山内ゆかり 菅沼祐介 小幡義彦
コーディネーター 青木宏文(GREMO)、石橋基範(NU-CAR)
受付担当 神本祐樹(GREMO)、菅沼祐介(NU-CAR)

1. 開会挨拶 (GREMO 副領域長・特任教授 原口哲之理)

GREMOとNU-CARが研究連携に至った経緯と合同シンポジウム開催の意義などについて説明された。

2. 組織紹介

①GREMO 組織紹介(GREMO 領域長・教授 市野良一)

人員構成(専任教員8人、兼任教員37人、客員教員45人、特任教員26人、スタッフ10人)、年間予算(約10億円)、研究プロジェクトの概要などが紹介された。

②NU-CAR 組織紹介(NU-CAR センター幹事・准教授 小幡義彦)

人員構成(研究メンバー37人、スタッフ2人)、年間予算(約2千万円)、産学連携イベント(CAEフォーラム、先進自動車技術に関する国際シンポジウム)の概要などが紹介された。

3. 講演 (司会:GREMO 特任准教授 一木輝久)

①自動運転と乗る人のためのインタラクション技術 (GREMO 特任准教授 石黒祥生)

完全自動運転の未来社会で、ヒトとコンピュータがどのように関わり一体化するかなどについて紹介された。カーシェアリング社会では、自分が搭乗する車の認識方法などが紹介された。

②生体情報を付加したドライバモデルの可視化について (NU-CAR 専任講師 山内ゆかり)

運転者の生体情報計測(約13項目)を行った長距離運転実験結果から、AI技術を駆使することにより運転疲労度を評価できる研究内容が紹介された。

③ドライバの認知判断支援による信号交差点の安全・円滑化 (NU-CAR 准教授 丸茂喜高)

信号切り替わり情報を事前に運転者に伝えることにより、赤信号での急減速を緩和でき、燃費向上と渋滞緩和さらには安全性が向上できるシミュレーション結果が紹介された。

④地域モビリティのリスク分析に関する取り組み (GREMO 特任助教 廣井 慧)

豪雨による道路冠水で車が立ち往生することを防止するために、河川の水位情報と気象情報を組み合わせてリアルタイムに情報提供するシステムの構築について紹介された。

⑤高齢運転者の実態調査から見てきた特徴 (NU-CAR 准教授 栗谷川幸代)

NEDO 研究プロジェクトの成果などを中心に、高齢ドライバの実態調査、夜間視認支援システムの有効性、視覚機能の低下と個人特性の関係性などが紹介された。

⑥高齢ドライバの心身特性と自動車ドライブレコーダデータによる運転特性の関連評価

(GREMO 特任教授 青木宏文)

高齢ドライバの実態調査と交通事故低減に関する JST 研究プロジェクト(9 年間)の方針・内容・成果が紹介された。300 人を超えるモニタードライバのロングレンジ実態調査と提供されたドライブレコーダデータの中から注目すべき結果などが紹介された。

⑦地域在住高齢ドライバを対象とした追跡調査(DRIVE study)について (GREMO 特任講師 河野直子)

医学的視点を取り入れた認知症度合いの統計学的評価手法と加齢との関係などが紹介された。

4. 特別講演

認知障害を有する高齢者の自動車運転:事故と認知機能との関係とトレーニング効果について

(国立長寿医療センター 部長 島田祐之)

日常自動車を運転している高齢者ほど健全生活ができる期間が長いとの研究結果が紹介された。「高齢者の運転免許証返上は交通事故数低減に寄与している」との社会通念と相反する結果となっている。これらの結果から認知症予防と運転との関連を調べる運転寿命延伸プロジェクトの内容が紹介された。

5. 閉会挨拶 (NU-CAR 主席研究戦略アドバイザー・教授 景山一郎)

本シンポジウムの意義と今後の展開について説明された。次回は 2019 年 3 月 19 日に日本大学生産工学部で開催されることが紹介された。

6. 技術交流会

約 25 人が参加して開催され、NU-CAR の石橋教授が挨拶を行った。次回のテーマについて GREMO と検討した結果、材料や加工法の改善と燃焼効率化などによる環境改善法などが候補となった。



NU-CAR 組織紹介



シンポジウム閉会挨拶



技術交流会の開会挨拶



技術交流会での情報交換

以上 (文責:小幡)